

# 今冬の電力需給見通しについて

平成23年11月  
東京電力株式会社

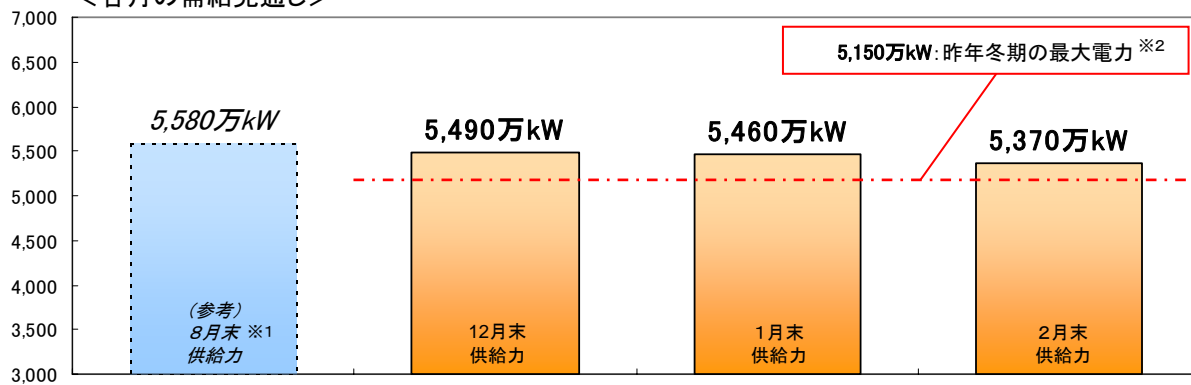
本年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震以降、多くの発電所が停止したなかで、今夏の節電について、広く社会の皆さまよりご理解とご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。  
当社はこのたび、今冬の需給見通しを取りまとめましたのでお知らせいたします。

## I. 今冬の需給見通しについて

※当社プレスリリース「今冬の需給見通しについて」(平成23年11月1日)より

今冬は、昨年冬期の最大電力である5,150万kWに対して一定の予備力をもって上回り、安定供給を確保できる見通しです。

<各月の需給見通し>



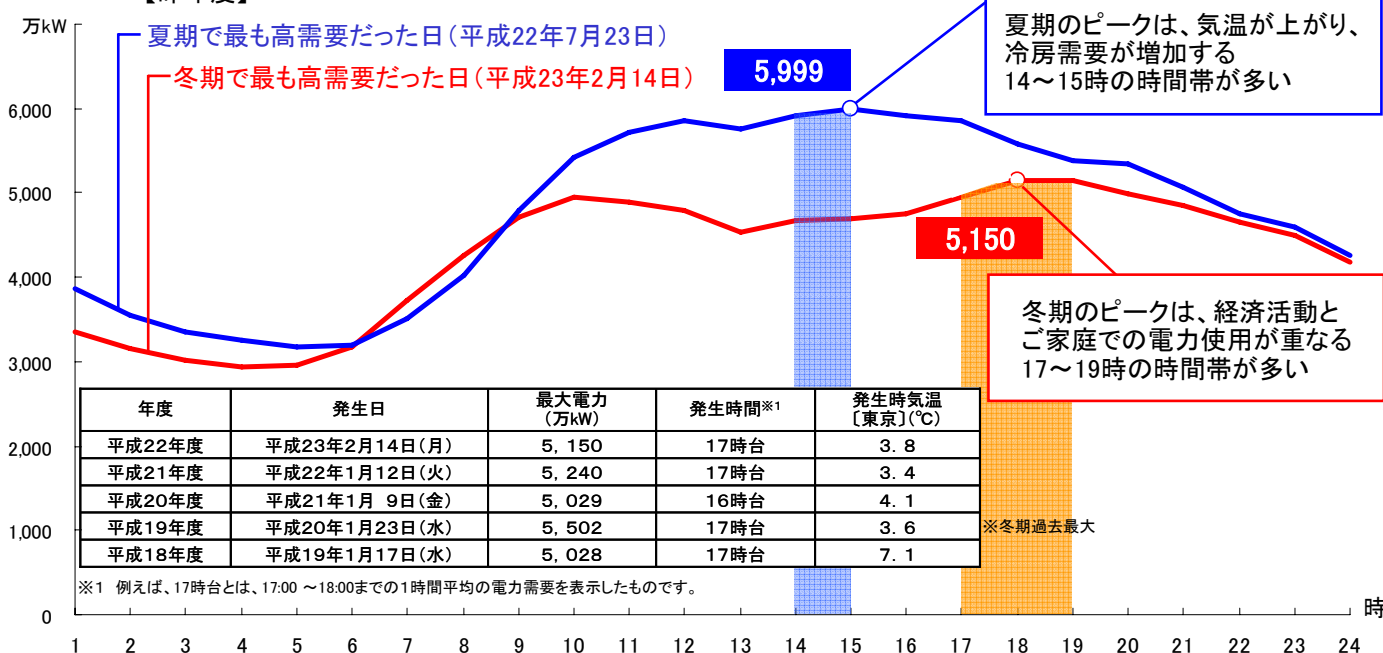
万kW ※1 平成23年8月19日プレス時の8月末の供給力 ※2 昨年冬期の最大電力は平成23年2月14日実績

## II. 冬期の電力需要の特徴

冬期の電力需要のピークは、経済活動とご家庭での電力使用が重なる17～19時頃にピークを迎えることが多くなります。

また、夏期と比較して、昼夜の差が小さく、比較的フラットな需要カーブとなるのが特徴です。

【昨年度】



上記のとおり、**今冬は安定供給を確保できる見通しですが**、電源の計画外停止や急激な気温の変化による需要増加の可能性もあることから、お客さまにおかれましては、**無理のない範囲での節電へのご協力をお願いいたします。**

当社は、引き続き計画停電の「原則不実施」を継続するために、供給力を着実に確保するとともに、電力設備の確実な運転・保守に努めてまいります。